

気象状況

落雷、突風、竜巻、ひょうなど急激な気象変化の情報を収集してください！

- 屋外での活動においては、落雷の危険性を認識し、事前に天気予報や避難場所の確認などを行い、天候が急変した場合は速やかに活動内容を変更もしくは中止をしてください。



- 気象情報の入手先例：
気象庁 あなたの街の防災情報ページ
<https://www.jma.go.jp/bosai/>



こんな時は落雷を予測！

厚い黒雲／急に冷たい風が吹いてきた
かすかに雷鳴が聞こえた／雷光が見えた

- ★安全な場所（鉄筋コンクリートの建物、自動車内等）に避難！
- ★活動内容の変更・中止！
- ★帰宅方法の配慮（保護者へ送迎依頼連絡）

2. 「まいかつ」中のリスク管理

指導中も以下の点に注意し、活動を実施してください！

- ウォーミングアップ・クールダウンの徹底
- 水分補給の徹底
- 無理のない計画と適切な休憩の確保
- 異変の早期発見
⇒子どもの顔色、行動に注意を払う
- 気象状況の把握



3. 緊急時・事故発生時の対応フロー

冷静かつ迅速な対応が被害を最小限に抑えます。
事前に流れを理解し、いざという時に対応できるようにしておきましょう！



- 負傷者の安全確保
- けが・急病の状態の把握
- 他の指導者と連携し、他の参加者の安全確保

判断に悩んだら
#7119へ！

重 度

意識がない
意識が混濁している
出血が止まらないなど

救急要請
119番



搬送

救急車同乗

保護者へ
連絡

搬送先を
伝える

《他のスタッフ》
他生徒の
対応

医療機関対応（状況説明、
保護者合流、結果確認など）

《その後の対応》

- 救急搬送・医療機関受診があれば運営団体・リーフラス株式会社へ報告
(TEL: 050-5445-5582もしくは5583)
- 事故記録作成 ⇒市や運営団体と共に原因究明と再発防止策の検討に活用
- 保険手続き

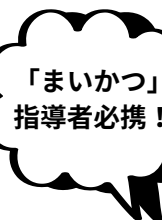
軽 度

意識あり
擦り傷など活動に
支障がない など

保護者へ
連絡

経過
観察

必要に応じて
医療機関受診や
保護者による
経過観察



令和8年7月
舞鶴市作成

「まいかつ」 安全管理マニュアル

はじめに

- 「まいかつ」は地域全体で子どもたちのスポーツ・文化芸術活動を支える取組です。多様な活動・指導を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図ることを目指しています。
- そのため、子どもが安全・安心に活動できる環境確保はとても重要です。指導者、関係者全員が安全意識を共有し、リスクを低減し、安全に活動できるよう、本マニュアルを活用してください。

事故・事件発生時

けが・病気
・火事

119

不審者・
事件

110

119番通報で伝えること

- 救急要請であること
- 場所（どこで）
- 何が起きたのか
①だれが
②いつ
③どうなっているか
- 自分の名前・連絡先

普段の活動場所の住所を
メモしておきましょう！
活動場所の住所：

.....
.....



搬送すべきか
悩んだら
#7119へ！

1. 「まいかつ」活動前に備えておくこと

安全な活動実施のため、事前に備えておきましょう。

事前の準備

いざという時に備えましょう！

○緊急時の連絡先の把握

保護者の緊急連絡先等の個人情報は、管理ツールを活用し、厳重に管理しましょう。



○子どもの健康状態の把握

持病・アレルギー等、配慮が必要な生徒の情報を保護者と共有しておきましょう。



○応急手当品の準備

救急絆創膏など応急手当物品を用意しておきましょう。



○保険の加入

「まいかつ」認定要件に基づき、参加者・指導者共にスポーツ安全保険等に加入し、事故発生時に使えるようにしておきましょう。



活動前の準備

安全に活動できるか確認しましょう！

○活動場所・設備の確認

AEDの位置、会場・設備の状況、危険物の有無を確認し、重大な異常がある場合は活動はせず、施設管理者と「まいかつ」運営団体へ報告してください。

活動場所のAEDの所在をメモ



○参加者の確認

活動開始時に体調や怪我などを事前に聞き取り、不調を訴える生徒がいないか把握してください。

○天候・気候の把握

異常気象が多くなっていることから、事前に天気予報等を確認し、活動に適した状況かどうかを判断してください。活動にあたっては、①客観的な数値（指標）、②現場の予兆を踏まえ、以下を参考に判断してください。

警報

[1]舞鶴市に以下の《警報》が発表された場合 ⇒自宅待機

暴風・大雨*・土砂災害*
大雪・暴風雪

*はレベル3以上の警報の場合

警報が解除になり次第、活動場所に異常なければ活動は可能です。ただし、活動場所への移動にリスクがあると考えられる場合は、活動を中止してください。

[2]舞鶴市に午前0時以降に

レベル5 特別警報 が発表された場合



⇒ 終日活動中止です！

[3]その他の警報（河川氾濫・波浪・高潮）の場合 ⇒ 基本的には活動可能です。

※ただし、活動の種類により警報が関係する場合（例：海で行う活動日に波浪警報が発令）は、[1]に準じて対応してください。

熱中症

暑い時期は「熱中症予防情報サイト」の暑さ指数（WBGT）予測値を参考に活動してください。

暑さ指数（WBGT）とは

気温とは異なり、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目し、熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標



環境省熱中症予防情報サイト

活動中止の判断

活動前に「環境省熱中症予防情報サイト」で公表される暑さ指数（WBGT）予測値もしくは活動時間に活動場所で計測した暑さ指数（WBGT）を確認

指数が「31」以上の場合

原則運動は中止・中断してください。

活動時の留意点

以下の運動指針を参考に適切な休憩をとり、適宜水分・塩分を補給するなど、万全の対策を取って活動してください。

熱中症予防のための運動指針

暑さ指数	熱中症予防運動指針	
危険 31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
厳重警戒 28以上31未満	激しい運動は中止	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
警戒 25以上28未満	積極的に休憩	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
注意 21以上25未満	積極的に水分補給	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

※熱中症環境保健マニュアル2022から抜粋

活動前後の留意点

子どもたちが自宅から活動場所の移動で体力を消耗している場合は、クールダウンをしてから活動を行ってください。また、活動終了後も日陰など涼しい場所で休ませてから帰宅させるなど、自宅までの往復の熱中症対策も実施してください。

